

様式 2

先進地（現地）調査報告書

平成31年3月29日

玉名市議会
議長 中尾 嘉男 様

氏名 多田隈啓二



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	多田隈啓二、北本 将幸、吉田 憲司、吉田真樹子
日時	平成30年8月 2日（木）午後1時00分～午後3時00分
調査先	鹿児島県出水市
調査事項	出水ツルマラソン大会について
調査先面会者	出水市シティセールス課長 スポーツ交流係長 スポーツ交流係主査
概要及び所見	<p>本市で計画されているフルマラソン大会に向けて、出水ツルマラソン大会の研修に出向いた。</p> <p>マラソン大会開催に至るまでの経過、大会の準備、当日の運営等に関し、説明を受けたのち、質疑などを行なった。</p> <p>開催場所が新幹線の駅舎から近いこともあり、誘客効果を図る上でも参考とすべき点を多く感じた。また、本市においても、新玉名駅からの輸送手段を検討していかなければならず、課題の解決に向けて、尽力していきたい。</p> <p>大河ドラマの経済効果を一過性に終わらせないためにも、フルマラソン大会の実現に向けた取り組みを、今後も図っていきたい。</p> <p>研修終了後は、鹿児島市に移動し、西郷どんドラマ館に入館した。鹿児島ならではの展示物など研修し、先進的なドラマ館として、観光客の誘致につながっていることを目の当たりにした。</p> <p>本市の取り組みを加速させていきたいと感じた。</p>

様式 2

先進地（現地）調査報告書

平成31年3月29日

玉名市議会
議長 中尾 嘉男 様

氏名 多田隈啓二



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	多田隈啓二、北本 将幸、吉田 憲司、吉田真樹子
日時	平成30年8月 3日（金）午前10時から午後0時まで
調査先	鹿児島県指宿市
調査事項	いぶすき菜の花マラソン大会について
調査先面会者	指宿市観光総務係長 [REDACTED] 主事 [REDACTED] 指宿市観光協会事業部長 [REDACTED]
概要及び所見	<p>指宿市は人口4万人程度で、本市よりも人口が少ないにも関わらず、参加者が1万人規模を超える「いぶすき菜の花マラソン大会」を運営されている。</p> <p>大会実施までの流れ、ボランティアの動員、大会当日の警備等について、説明を受けて質疑応答を行なった。</p> <p>歴史ある大会であり、地域一体となったマラソン大会運営をされているのが、明確に感じ取れた。運営においては、観光協会が主体となっていて、選手の移送、ボランティアの動員計画など参考となる箇所が見受けられた。また、ボランティアの高齢化などの課題についても現状を知ることができ、参考となった。</p> <p>官民連携した大会運営のため、観光協会との普段からの連絡調整が重要であるとともに、市民を取り込んだ機運の高揚が必要と感じさせられた。</p> <p>本市においても、ボランティアの参加をはじめとする課題も多く、今後の一助としていきたい。</p>

様式 2




先進地（現地）調査報告書

平成31年3月29日

玉名市議会
議長 中尾 嘉男 様

氏名 多田隈啓二 

下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	多田隈啓二、北本 将幸、吉田 憲司、吉田真樹子
日時	平成30年10月16日（火）午後2時00分～午後4時00分
調査先	滋賀県野洲市
調査事項	(1)野洲市債権管理条例について (2)生活困窮者支援について
調査先面会者	野洲市総務部納税推進課長  消費生活センター長  野洲市議会事務局主査 
概要及び所見	<p>生活困窮者支援に関する取り組みについて、研修を行なった。野洲市においては、生活困窮者支援のひとつとして、債権管理条例を制定されていた。これは、滞納の SOS のシグナルとして考えられており、差し押さえによる一時的な徴収を行なうよりも、滞納者自身の生活を再建することで、より長期的な納税を行なっていくという制度であった。</p> <p>効果も出ていて、庁内連携の仕組みも強化されており、相談件数も増加。生活困窮者の市民生活相談課への誘導にもつながっている。</p> <p>本市における生活困窮者対策は、庁内で組織されている生活あんしんネットワークであるため、更なる充実を図っていきけるような取り組み、困窮者自身の再建に対する支援の強化を推進していきたいと痛感した。</p> <p>今回の研修を有意義に活用していかなければならない。</p>

様式 2

先進地（現地）調査報告書

平成31年3月29日

玉名市議会
議長 中尾 嘉男 様

氏名 多田隈啓二



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	多田隈啓二、北本 将幸、吉田 憲司、吉田真樹子
日時	平成30年10月17日（水）午前10時30分～午後0時
調査先	兵庫県明石市
調査事項	(1)「パピオスあかし」について
調査先面会者	パピオスあかし管理組合法人 [REDACTED] 明石市市民生活局あかし総合窓口課長 [REDACTED]
概要及び所見	<p>明石駅前にある「パピオスあかし」にて、子育て支援、駅前開発等の視察を行なった。</p> <p>同施設は、明石駅前の再開発において建設された施設であり、2階には市民広場が設置されていた。休日も多くの人が集うイベントが開催されているとの説明を受けた。4階は市民図書館、5階には子育て支援センター等のさまざまな施設、6階は市相談窓口やこども健康センターが設置されていた。</p> <p>数年前から、子育てに特化した政策を推し進められており、減少傾向にあった人口が平成24年頃より増加に転じ、併せて出生数も増加、さらには市民税などの増収を実現されていた。</p> <p>また、駅前開発にかかる経緯も聞くことができ、民間誘導の手法を学ぶことができた。</p> <p>子育て支援、障がい者支援に対する取り組みなど多くの事項について、今後の玉名市のためにつなげけいきたい。</p>